

内田百閒生誕120年記念

～阿呆列車は 時空を超えて～

■今年は岡山市出身、小説家かつ随想家「内田百閒」の生誕120年と近年の鉄道ブームもあり、約四半世紀ぶりの百閒ブームの予感を感じます。「どこからどこへ行くと云ふ役には立たなかつたが、しかし珍しいので、今日は閑だから、電車へ乗りに行つて来やうと云ふ様な事を真面目に言つた。」(下段につづく)

(上段からつづき) これは、岡山市内を走る路面電車開業当時の様子を内田百閒が記したものです。その頃彼は既に上京し二十三歳頃でした。八十一歳で波瀾の生涯を閉じましたが、もし今もこの世に存在していたらと妄想にふけているとペンが走り出し、代表作「阿呆列車」の模倣作品にしてみました。

* * * * *

■冥途での生活も三十八年目を迎えると、もう厭きてしまった。行く所もなく随分閑になったので、久々に岡山の街に帰つてみようと思う。閑だから行くのであつて、勿論用事などはない。東山電停で山系君と待ち合わせをし、十一時五分発の岡山駅前行き「MOMO」に乗り込んだ。ジリリリンという古めかしい発車ベルが鳴ったか鳴り終わったか分からない間に、電車は既に動き出していた。電車が発車ベルを聞かずして動いたのではない。あまりにも走行が静かなので、いつ動き出したのか分からなかつたのだ。木をふんだんに使つた暖かみのある車内は、少なくとも二等車以上である。

「この電車は中では酒を飲んでもいいのか」
「いえ。車内は飲食禁止のはずですが」
「では、このテーブルは何のためにあるのだ」

「遊び心ではないですか」

納得出来たのか出来ていないのか、頭を整理している間に電車はカーブを曲がり、車窓に吉備団子の店が見えた。無性に甘いものを口にしたくなつたので、中納言電停で降り吉備団子を買ひ、小橋、中橋、京橋と3つの橋を渡り大手饅頭も買つてから西大寺町電停に向かい歩いていった。

■西大寺町電停で電車を待っていると、思いがけぬ再会が待っていた。五十二年前家出をしたままの愛しい飼ひ猫の「ノラ」が現れたのだ。

「おいノラ。何処へ行つてたんだ」

「これはタマですよ。たま電車のタマです」

「貴君はノラの事を私以上に良く知らない。知っている私が云っているのだからノラに間違いない」

「はあ」

電車に乗り込み座席に座ると、猫柄のシートを何度も何度も「お帰り」となでていた。ふと後樂園が見たくな

つたので、城下電停で降りる事にした。旭川河畔から見る鳥城と後樂園の風景は雅やかで、後樂園から見る鳥城は本当に雄々しい。例え鳥城が鉄筋コンクリート建てに変わったとしても、その風景が好きなのだから何で造ろうと関係はない。

城下電停に戻り電車を待っていると、真つ黒な電車が入つてきた。岡山駅行き「KURO」である。外観、車内ともに愛しい古き良き時代の岡山のままのこの電車が一番好きである。幼少時代の頃を思い出し、珍しく哀愁にふけていると電車は終着岡山駅前電停に滑り込んだ。

■「貴君。せっかくだから三門のよもぎ団子も食べたい。市内電車と吉備線はいつ繋がるのだ」

「僕は知りません」

「元国鉄職員の貴君が何故知らない。報道発表されてから六年も過ぎるのに、検討事項のままだとは、のんびりし過ぎていると思わないか。」

「はあ。どうも財源の問題があるようだ」

「つまらない。そのような事に構っているようだとあと百年あつても出来る事も出来ない。必要か必要でないかが重要な事で、それにいくらかかるかの問題は後からの話である。もしもそこに問題があるなら、そこからはお役人様の腕の見せ所であらう」

■少し不機嫌になつた私に気を遣つてか、山系君が、MOMOのワイン電車で招待してくれた。夜七時、岡山駅前電停に眩しいつ見てもモダンな電車が這入つてきた。車内ではボーイがワインを注いでくれ、うまい食事をいただいた。ようやくMOMOの「テーブル」と山系君の言つた「遊び心」の頭に引っかけかかっていた謎が解けた。納得する事が出来た事が嬉しく、気持ちよくワインとMOMOカクテルを飲んだ。今宵は話をしたくて仕方ない。楽しくてたまらないのである。

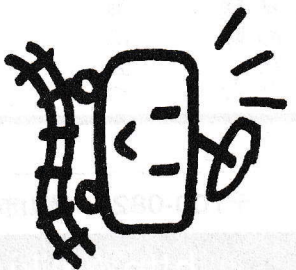
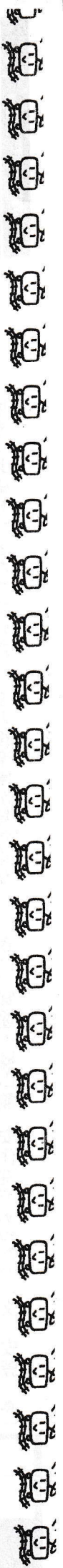
「今夜は雪でも降るのではないか」

「もう初夏ですよ。」

「いや。貴君が同行するにも関わらず、今日は雨に会つていない」

「岡山は晴れの国ですから」

よほど飲んだのであろう。どの辺りから意識が曖昧となつたのか、それも判然しない。気持ち良く目が覚めたときは、冥途の操山麓、安住院であつた。「文 安藤 亮」



路面電車の日シンボルマーク

6月10日は
「路面電車の日」

第14回 岡山路面電車まつり2009

O k a y a m a T r a m F e s t i v a l

6月14日 (日) 午前10時から午後4時まで



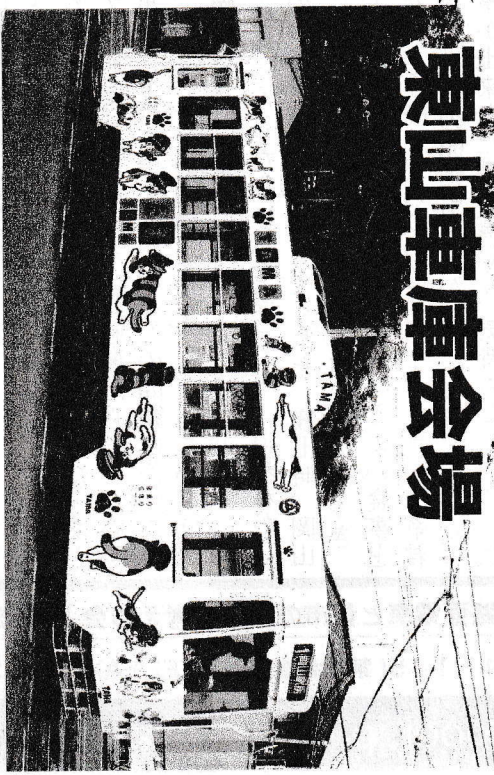
駅前広場会場

路面電車で巡る岡山 まち歩きスタンプラリー



- ・集合場所 岡山駅前イベントテント
- ・10時から16時まで
- 募集人数 100名 当日申し込み可能
- 方法
 - ①受付でスタンプカード地図を受け取る
 - ②6箇所のスタンプでスタンプ獲得
 - ③携帯スピードクイズ (東山で14:30～)
 と組合わせてWで楽しむ

*路面電車一日乗車券 (400円) 当日購入の方、たま駅長絵巻書進呈
実施主体 RACDA おかじやむ 共同企画



東山車庫会場

たま電車運転体験 (小学生30名)

6月5日から岡山電気軌道電車営業部にて体験希望受付
※事前予約制 定員になり次第締め切り
受付電話 086-272-1811

ミニ路面電車 (MOMO型) 体験乗車

(無料、小学生以下の児童対象)・午前10時から出発式を開催

吉備線LRT化、路面電車の活用についてのRACDA展

ミニ討論会・説明会「吉備線LRT化構想のRACDA試案」

自由に遊ぶプラレールコーナー

水戸岡鋭治さんデザインの名物列車、岡山の電車に触れて遊ぼう

LRTが走るNゲージ 鉄道模型展示運転 カフェ&レストラン停車場にて

(スタンプラリーのチェックポイントです)
岡山市京橋南町4-24 電話 086-232-1798
岡電東山線西大寺町下車南360m 徒歩6分
新京橋西詰から南100m

お問合せ先 路面電車と都市の未来を考える会 RACDA
〒700-0823 岡山市丸の内1-1-15 祭酒会館3F
TEL 086-232-5502 当日 090-3743-4778

京橋アート村 (東山編) & カフェ

京橋朝市にて開催の京橋/ART村が東山にやってきました。
アート作品の展示販売・カフェをお楽しみ頂けます。

その他に鉄道模型運転、たまグッズ販売などがあります。

主催 路面電車と都市の未来を考える会 (RACDA) 後援 岡山市 (予定) 協力 岡山電気軌道株式会社・おかじやむ